

「情報公開文書」

単施設研究用

研究課題名：局所進行性非小細胞肺癌患者における化学放射線療法後の免疫治療の実際に関する観察研究**1. 研究の対象**

2018年7月から2019年12月までに宮城県立がんセンター呼吸器内科において所進行性手術不能非小細胞肺癌に対し化学放射線療法を完了し、デュルバルマブ投与を開始した症例

2. 研究目的・方法

局所進行性手術不能非小細胞肺癌に対しての標準治療は、化学放射線療法である。近年、化学放射線療法後に抗PD-L1抗体を1年間投与することで、全生存期間が有意差をもって改善することが報告されている。しかし、実臨床では1年間の投与を継続できる症例ばかりではなく、途中で有害事象による中止となる症例などもある。それらの途中中止例の予後については報告がない。今回、当施設における投与症例の予後についての観察研究を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 973)

研究責任者：

研究責任者：宮城県立がんセンター呼吸器内科 福原達朗